

## 1-8 大学院大学等の存在を活かした地域クラスターの形成⑤

これまでに沖縄で実施された地域クラスター関連施策（主なもの）

施策名	実施機関	概要	期間
先端バイオ研究基盤高度化事業	経産省 沖縄県	先進的なゲノム解析技術を核とした地域の研究開発基盤の高度化を図り、先進的な研究機関と連携したプロジェクトや高付加価値な産業創出に結びつく研究開発を支える高度な研究基盤を構築する。	H19 - H22
臨床研究連携基盤構築事業	厚労省 沖縄県	県内の大学病院や医療機関等が連携し、臨床研究の実施を促進する研究基盤を構築することにより、生命科学分野の研究成果を医療分野に活用するための臨床研究を推進する。	H20 - H22
亜熱帯特性を有する微生物に関する研究推進事業	内閣府 沖縄県	亜熱帯特性を有する有用な微生物の探索やそれらの体系的な整理を行い、データベースを構築することで、有用微生物を活用した研究開発を促進し、地域資源を活用した新たな産業創出を支える研究基盤を構築する。	H18 - H22
知的クラスター形成に向けた研究拠点構築事業	内閣府 沖縄県	研究拠点となるオープンリサーチセンターを整備するとともに、関係機関による共同研究事業を実施する。	H22 -
おきなわ新産業創出投資事業	内閣府 沖縄県	ベンチャーキャピタルの目利きを活用し、有望なベンチャー企業に対し、投資や研究開発補助金によるリスクマネーを供給するなど、県外・海外市場に積極展開するベンチャー企業を集中的に支援することで、新産業振興の核となるベンチャー企業の育成・誘致を図る。	H21 -
沖縄イノベーション創出事業	内閣府 沖縄県	沖縄県の地域資源や特性などを活用した新商品・サービスの開発を目指す産学官等の共同研究を支援する事業であり、研究開発の段階に応じて、顕在化ステージ、事業化ステージの2つのステージで研究開発プロジェクトを公募し、支援を行う。	H19 - H22
マリンバイオ産業創出事業	文科省 沖縄県	沖縄地域の多様なマリンバイオ資源について産学官共同研究を行うことにより、一次産業と二次産業が共に発展するイノベーション創出を目指す。	H20 - H21

沖縄県資料より作成

## 1-9 大学院大学等の存在を活かした地域クラスターの形成⑥

### 地域クラスター形成に向けた課題

#### 沖縄機構主催国際シンポジウム・ワークショップ参加者からの提言

- ・ 中長期的なビジョンの共有，関係者の長期的なコミットメント
- ・ 優れた若手研究者・学生等への大胆な投資
- ・ 起業家精神（entrepreneurship）に富む文化の醸成
- ・ 企業立地やベンチャー企業への投資を促す金銭的なインセンティブ
- ・ 大学院大学における世界最高水準の教育研究の実施，優れた教員の採用（外国人の子弟教育，住環境の整備等）

「知的・産業クラスターの形成に関する国際シンポジウム・ワークショップの結果概要」  
（（独）沖縄科学技術研究基盤整備機構，2010年）より抜粋

#### 米国のクラスター成功地域関係者からの助言

- ・ 自立とコラボレーション（連携・協力）
- ・ 地域の中核（アンカー）となる研究機関
- ・ 人材の育成・確保
- ・ 幅広い関係者の協力を得た計画的な取組

「内閣府・沖縄県米国知的クラスター現地調査報告」  
（第5回沖縄振興審議会総合部会専門委員会資料）より抜粋

#### 県内の研究者に対するアンケート調査の結果

- ・ 人的研究資源の育成・集積
- ・ 沖縄の特徴を生かした国家研究開発プロジェクトの実施（研究資金拡充）
- ・ 地元企業（特に中小企業）との連携の促進
- ・ 内外の有力企業のイノベーション機能や高度な生産拠点の誘致
- ・ 県内の既存の大学・研究機関の強化と連携化（特に県内立地の国の研究機関の強化策）
- ・ 地元企業の基礎体力向上及びソフト・ハード両面からの補助



「沖縄における地域クラスターの形成施策の展開方向検討調査報告書」  
（（株）三菱総合研究所，2010年）より抜粋

# 1-10 大学院大学等の存在を活かした地域クラスターの形成⑦

## 主な現状や検討課題の整理

要素	主な現状の整理	検討課題
① 研究機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄機構（平成24年秋に大学院大学を開学をするための準備法人）、琉球大学、沖縄工業高等専門学校等の教育研究機関が存在。</li> <li>○うるま市州崎地区には、県の試験研究機関が集積。</li> <li>○国内有数の次世代DNAシーケンサの集積（8台）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄の研究機能が地域クラスターの知の核になるために、どのような補強・強化が必要か？</li> <li>○既存の研究機能の強みをどのように活かしていくか？</li> <li>○琉球大学等との連携をどのように進めるか？</li> </ul>
② 地域関係者の技術吸収能力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産学官で構成される「沖縄ゲノム研究推進協議会」や技術移転機関である「沖縄TLO」の存在。</li> <li>○りゅうきゅう臨床試験ネットワークの存在。</li> <li>○県による産学官の研究ネットワーク構築に関する支援。</li> <li>○地域イノベーションクラスタープログラムによるマリンバイオの産学官共同研究の支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連携、コーディネーション、技術移転の機能の強化は必要か？</li> <li>○補強・強化するとすれば、何が考えられるか？</li> </ul>
③ 優位性の強化、地元資源との結びつけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄はアジア・太平洋地域の要所に位置。</li> <li>○亜熱帯気候で海洋に囲まれ、陸海の多様で固有な生物資源が存在。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地理的特性や生物資源は生かされているか？</li> <li>○更なる活用を促進するためには何が考えられるか？</li> </ul>
④ マーケティング支援、新事業進出支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄公庫、県産業振興公社、中小機構等による新事業支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資金はニーズに沿って提供されているか？</li> <li>○資金以外の新事業支援は十分か？</li> </ul>
⑤ ネットワーク形成・拡大（企業誘致）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内にはバイオベンチャー企業が30社立地。</li> <li>○沖縄総合事務局のOK I NAWA型産業振興プロジェクトによる健康分野の支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中核となりうる企業はあるか？</li> <li>○ベンチャー企業をどのように創出・誘致するか？</li> </ul>
⑥ 資金の循環、起業家支援メカニズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄公庫、県産業振興公社、沖縄ベンチャー育成ファンド等による企業支援。</li> <li>○沖縄機構が開催した国際シンポジウムには、海外のベンチャーキャピタルも参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資金はニーズに沿って提供されているか？</li> <li>○資金以外の起業支援は十分か？</li> </ul>
⑦ 人材育成メカニズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沖縄機構、琉球大学、沖縄工業高等専門学校等の教育研究機関が立地。</li> <li>○県によるバイオインフォマティクス人材育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究や技術を担う人材は供給されるか？</li> <li>○ビジネス、法務、知的財産等の人材は供給されるか？</li> </ul>

## 1-1-1 大学院大学等の存在を活かした地域クラスターの形成⑧

---

---

現状を踏まえた長期的な将来像・中期的な目標の策定

---

### 沖縄21世紀ビジョン

---

- 知的クラスターの推進による、ライフサイエンス、医療・健康分野の先端科学技術を応用した新たな産業創出（科学技術研究拠点形成、生命科学等の戦略的研究拠点の設定、海外とのネットワークや県内企業の育成等による産業振興、大学院大学の周辺的生活環境整備、健康・医療産業クラスターの戦略的形成等）[P. 26、P. 68]
- 科学振興と知の集積による拠点形成（学際的研究の推進、新エネルギー研究開発拠点の形成、海洋研究の拠点形成等）[P. 28、76～77]
- 大学や研究機関、企業、行政が連携した環境技術の革新 [P. 49]
- 環境・エネルギー・医療など、世界に貢献する最先端産業の振興 [P. 83] 等



- バイオ、医療・健康等の一定の方向性は示されているが、長期的な地域クラスターの将来像を具体化していく必要はないか？
- また、長期的な将来像に向けた具体的な中期的目標にブレークダウンしていく必要はないか。

# (参考資料 1 - 1) 沖縄の優位性を生かした研究のイメージ

元気な日本復活特別枠に関する評価会議要望ヒアリング内閣府提出資料

